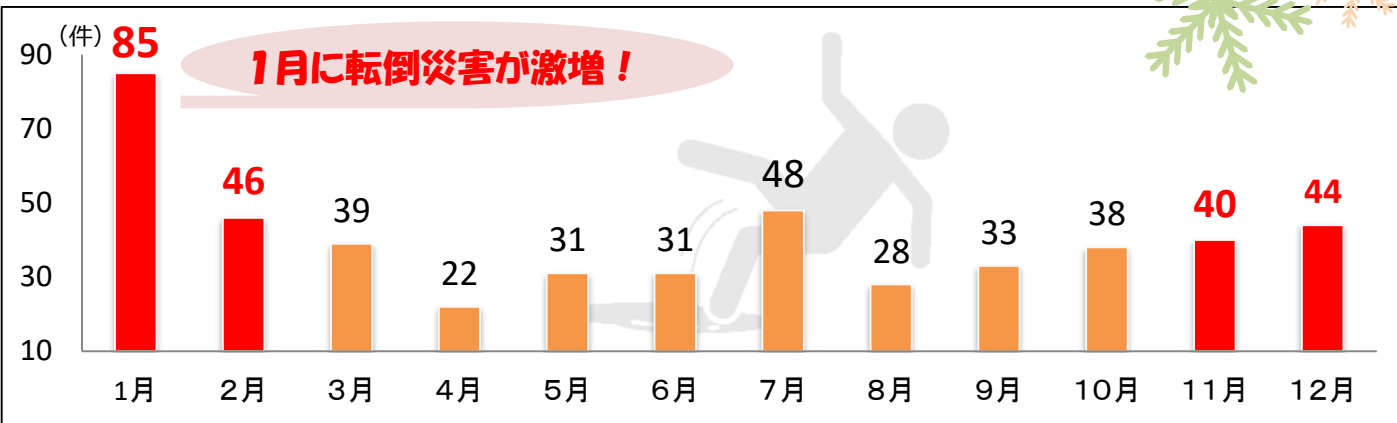


冬季労働災害を防止しましょう！

石巻署管内の転倒災害発生状況

(平成29年から令和3年までの5年間の合計月別件数)



(労働者死傷病報告による)

石巻署管内の冬季転倒災害事例

自動二輪で走行していたところ、路面が凍結していたため、スリップして転倒し、足首を打撲した。	休業2週間
---	-------

駐車場に止めた車に乗ろうとしたところ、地面が凍結していたため滑って転倒した。駐車場から事務所間、屋外の移動時の転倒が多発しています！	休業1か月
--	-------

敷地内駐車場で自転車を運転中、路面が凍結していたためバランスを崩して転倒し骨折した。	休業3か月
--	-------

冬季における転倒防止対策について

冬季は、積雪や路面の凍結などにより転倒災害が多く発生する傾向があります。次の4つに留意して転倒災害を防ぎましょう。

天気予報に気を配る

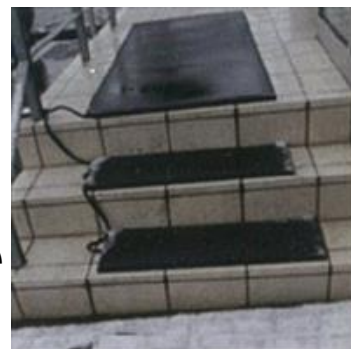
寒波が予想される場合などには、労働者に周知し**早めに対策**をとりましょう。

時間に余裕をもって歩行、作業を行う

悪天候による交通機関の遅れが見込まれる場合は、**時間に余裕をもって**出発するとともに、**落ち着いて**作業を行うように心がけましょう。屋外では、**小さな歩幅で靴の裏全体を地面に付けて**歩くようにしましょう。防滑シューズも有効です。

駐車場の除雪・融雪は万全に、出入口などにも注意する

駐車場内や、駐車場から職場までの通路は、**除雪や融雪剤の散布**を行いましょう。また、出入口には**転倒防止用マット**を敷き、照明設備を設けて**夜間の照度を確保**しましょう。



〈ヒートマット設置例〉

職場の危険マップ、適切な履物、歩行方法などの教育を行う

職場内で労働者が転倒の危険を感じた場所の**情報を収集**し、危険マップなどにより労働者への注意喚起を行いましょう。また、作業に適した履物の着用や、雪道や凍結した路面での歩き方を**教育**しましょう。



石巻労働基準監督署



冬季労働災害は転倒災害だけではありません！

冬季は、積雪や路面の凍結などによる転倒災害のほか、通勤時や就業時の交通労働災害も多く発生しています。以下の点にも留意し、**滑らず！焦らず！落ち着いて！**冬季を安全に乗り切りましょう。

交通労働災害防止対策

- ・他車両からの視認性向上のため、早朝、夕方は**早めの点灯**を励行しましょう。
- ・積雪や路面凍結などについて、交通安全情報マップなどを活用し、情報提供を行うとともに、「急ハンドル」「急ブレーキ」など急の付く動作や、スピードの出し過ぎに対して注意喚起しましょう。

ウォーミングアップ

冬季は寒さで身体がこわばって固くなる傾向にあります。作業開始前に、準備体操やストレッチ体操を行い、体を十分にほぐしてから作業に着手しましょう。

厚生労働省では、転倒・腰痛予防防止対策として「**いきいき健康体操**」を公表しています。ウォーミングアップなどにぜひ活用してください。



〈～転倒・腰痛予防！「いきいき健康体操」～（動画）他〉



不安全行動について

労働災害の発生状況を見ると、手間や労力、時間やコストを省くことを優先し、つい「これくらいは大丈夫だろう」、「長年経験しているから大丈夫」など慣れや過信から、「**あるべき姿**」を逸脱する安易な行動がとられた結果、重篤な災害が発生するケースが少なくありません。特に年末年始は慌ただしくなりますので、一つ一つの行動が「**あるべき姿**」となっているか今一度確認しましょう。また、伝達不足による労働災害も発生していますので、**報告・連絡・相談**（略して「**報・連・相**」）を通じて日頃からコミュニケーションを図りましょう。

新型コロナウイルス感染症対策について

以下の**取組の5つのポイント**に留意し、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を進めましょう。

- テレワーク・時差出勤等を推進しましょう。
- 体調がすぐれない人が気兼ねなく休めるルールを定め、実行できる雰囲気を作りましょう。
- 職員間の距離確保、定期的な換気、仕切り、マスク徹底など、密にならない工夫を行いましょう。
- 休憩所、更衣室などの“場の切り替わり”や、飲食など「感染リスクが高まる5つの場面」での対策・呼びかけを行いましょう。
- 手洗いや手指消毒、咳エチケット、複数人が触る箇所の消毒など、感染防止のための基本的な対策を行いましょう。

※ 早期のワクチン接種もご検討ください（季節性インフルエンザを含めて）。

『職場のあんぜんサイト』を安全管理にぜひご利用ください。

職場のあんぜんサイト

検索

